

都立山崎高等学校 グランドデザイン

【生徒／学校の現状】
 基礎学力の定着が不十分で、また学習習慣も身につけていない生徒が多い。教員が指示したことに対して真面目に取り組む姿勢はよく見られるが、自ら学びに向かおうとする姿勢には課題がある。背景に自己肯定感の欠如など、自分の行動に自信が持てず、勉強することに対して抵抗感を持っている生徒が多いことが挙げられる。

【予想される社会の変化】
 グローバル化・多極化の進展、新興国・地域の勃興、産業構造や就業構造の転換、生産年齢人口の急減、労働生産性の低迷、地方創生への対応、環境問題への対応、AIの進化、食料問題、資源の枯渇など

【教育目標】
 教育目標は平成30年度学校要覧を参考にされたし。簡単にまとめると、「すべての学校生活上の学習活動を通じて進路実現を目指す」となる。

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】

変化する社会に柔軟に対応し、共に挑戦し続ける生徒

【育成すべき資質・能力】

- ・ 基盤となる力 … 「基礎知識」、「基本的生活習慣」
- ・ 変化する社会に柔軟に対応する力 … 「創造力」、「表現力」、「課題発見力」
- ・ 共に挑戦し続ける力 … 「社会性」、「主体性」、「実行力」

【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力		レベル1（ベーシック）	レベル2（スタンダード）	レベル3（マスター）
基盤となる力	A. 基礎学力	義務教育段階で学習した知識や技能について、生活の中で活用している。	高等学校で学習する知識・技能のうち、主なものを覚えたり活用したりできる。	高等学校で学習する知識・技能について、概ね身につけている。
	B. 基本的生活習慣	挨拶等のマナーや時間を守るなどの基本的生活習慣を身につけている。	決められたルールやマナーに加え、自らの与えられた仕事、役割を全うすることができる。	自分の基本的生活習慣が確立しているだけでなく、周囲の生徒に自分のできたことを促すなど、模範となる行動ができる。
変化する社会に柔軟に対応する力・共に挑戦し続ける力	C. 創造力	様々なことに興味・関心を持ち、その内容について自ら考えることができる。	各自が抱いた興味・関心事に対して、よりよい案を考えることができる。	これまでに体験した様々なことを応用し、新たなプランを考えることができる。
	D. 表現力	与えられた条件の下で、自己の考えや意見等を表現（記述・発表など）することができる。	工夫された表現（記述・発表など）を用い、自分の考えなどを伝えることができる。	自分なりの表現を用い、想像力あふれる表現（記述・発表など）を用いて伝えることができる。
	E. 課題発見力	自分自身や自分のおかれた状況を把握し、課題を発見ができる。	自分や周囲の現状を把握し、その原因を分析することができる。	分析結果から多面的・批判的に思考・議論し、行動することができる。
	F. 社会性	集団の中で他者とコミュニケーションがとれる。	お互いの考えの違いを受け入れ、会話や議論に向き合うことができる。	集団の中で各人の伝えたいことを理解し、議論を進め、合意形成できる。
	G. 主体性	与えられた状況や条件、指示、役割に従って課題に関わることができる。	与えられた状況や条件の中で先頭に立って課題に関わることができる。	学校内外に目を向け、自らの力で、課題解決に向けて活動、および発信することができる。
	H. 実行力	計画・行動のどちらかに課題が残る。	計画、行動できるが、6割程度までやり抜くことができる。	計画、行動し、最後までやり抜くことができる。

目指すべき
生徒の将来像

**変化する社会に柔軟に対応し、
共に挑戦し続ける生徒**

レベル3・・・高校生として必要な育成すべき資質・能力を身につけ、かつ、社会に貢献できる生徒像

レベル2・・・高校生として必要な育成すべき資質・能力を身につけた生徒像

レベル1・・・それぞれの育成すべき資質・能力について最低限身につけた状態の生徒像